

マカフィー ウェブアドバイザーのサービスを一時的に無効化する

マカフィー ウェブアドバイザーのサービスを一時的に無効化することで、ダウンロードを正常に行うことが可能になります。

以下にて手順を説明いたします。

※ウェブアドバイザーのサービスを無効化すると、ページブロック機能が無効になり、一時的にセキュリティ機能が低下します。

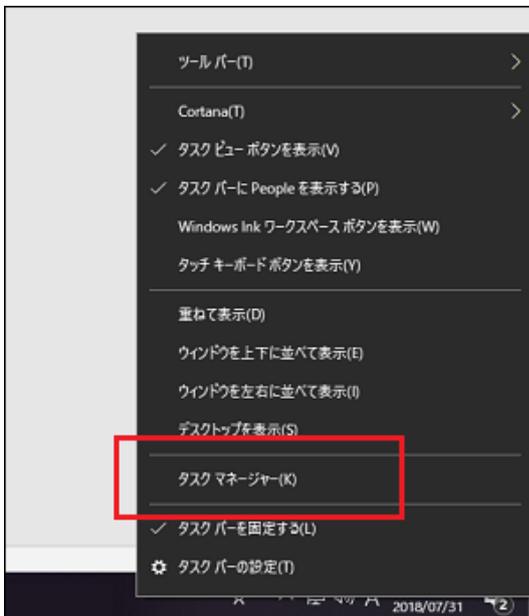
ページブロック機能とは、怪しいWEBサイトにアクセスしようとしたときに、本当にアクセスしても良いか警告を表示する機能です。

本機能を無効化しても、パソコンのリアルタイムスキャン機能、ファイヤーウォール機能によってパソコンは保護された状態となりますので、ご安心ください。

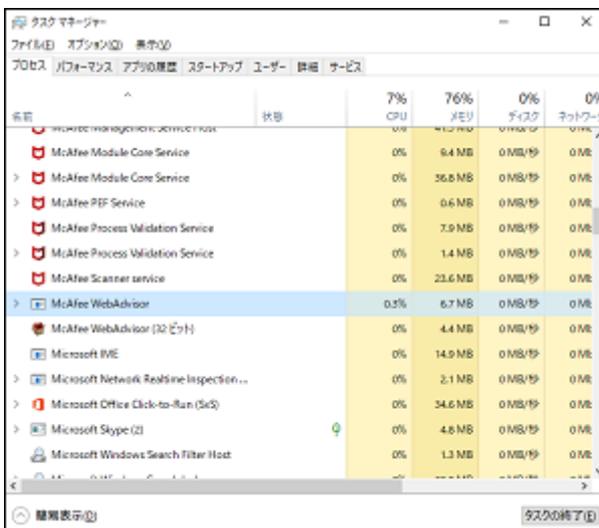
ファイルのダウンロードが完了次第、ご使用のパソコンを再起動し、ウェブアドバイザーが動作している状態を維持することをお勧めします。

[手順](画面は Windows10 のものです。Windows7 などのパソコンでも同様の手順で設定可能です。)

1. パソコン画面下部のタスク バーを[右クリック]します。
2. [タスクマネージャー]をクリックします。



3. 以下のような「タスクマネージャー」ウィンドウが表示されたことを確認します。



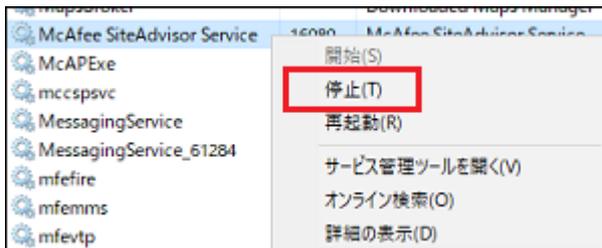
4. 画面上部の[サービス]タブを選択すると、以下のような画面に切り替わります。



5. リスト内から[McAfee SiteAdvisor Service]を探し、[右クリック]します。



6. 以下のようなメニューが表示されたら、[停止]をクリックします。



7. 再度、ファイルをダウンロードし、ダウンロードが正常に完了することを確認します。

※パソコンを再起動すると、サービスが再開されます。パソコンの再起動後に再度ファイルをダウンロードする必要がある場合は、同様の手順を実施してください。

影響を受ける製品

Known Issue/Product Defect

McAfee All Access

McAfee AntiVirus Plus

McAfee Internet Security

McAfee LiveSafe

McAfee Total Protection

McAfee WebAdvisor